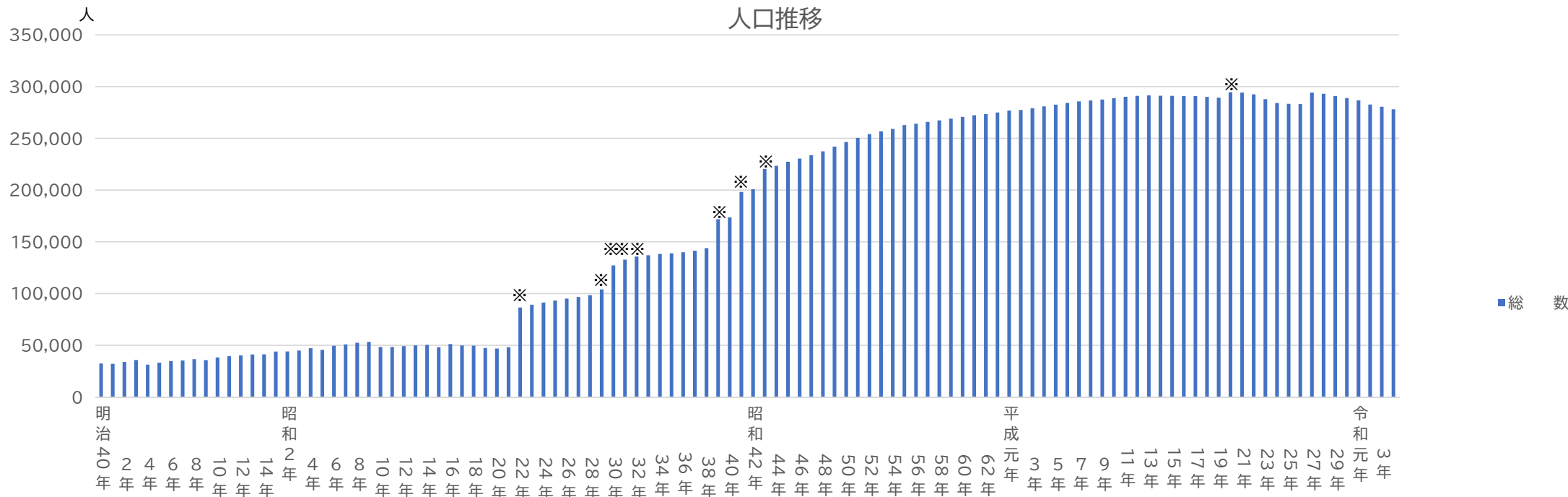


1. 人口動態編

福島市の人口推移



資料 福島市推計人口、国勢調査

(注) ・大正12年以前は12月31日現在(ただし大正9年は10月1日現在)、昭和20年は11月1日現在、その他は毎年10月1日現在である。

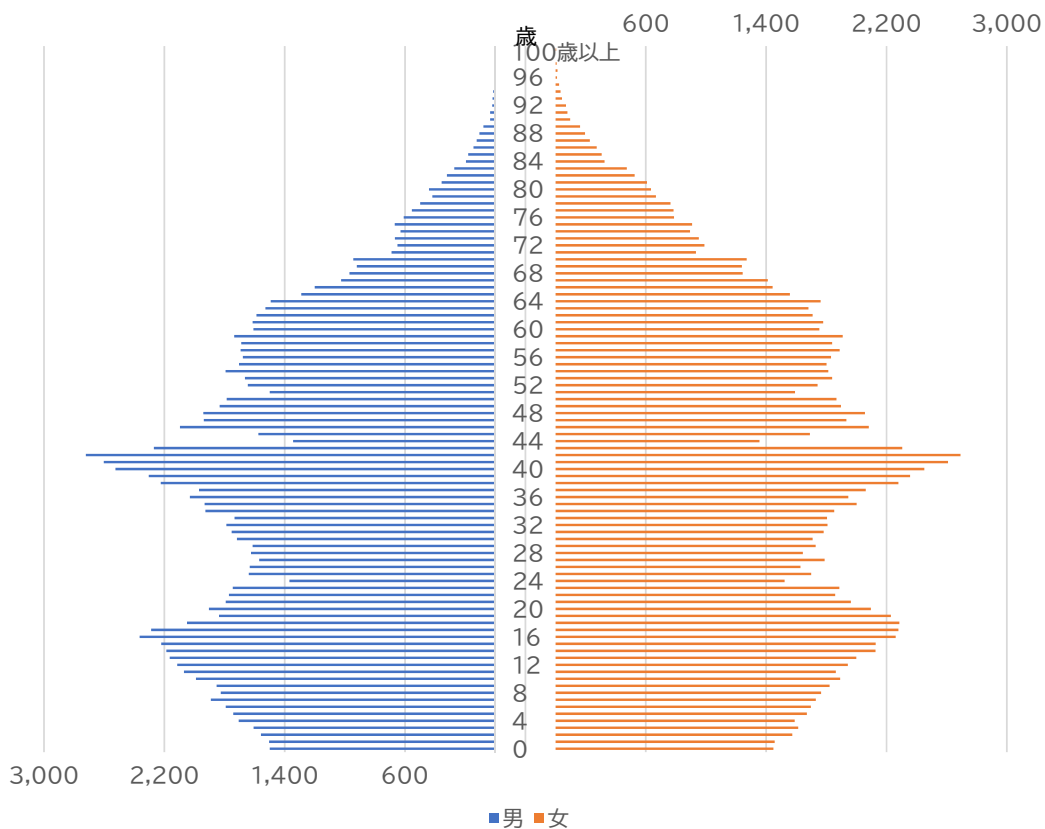
・※印は合併及び編入の行われた年である。

合併編入も含め市の人口は増加してきたが、平成13年をピークに合併を除くと、その後は減少傾向にある。
令和4年現在の人口は278,112人で平成2年頃の人口と同程度である。

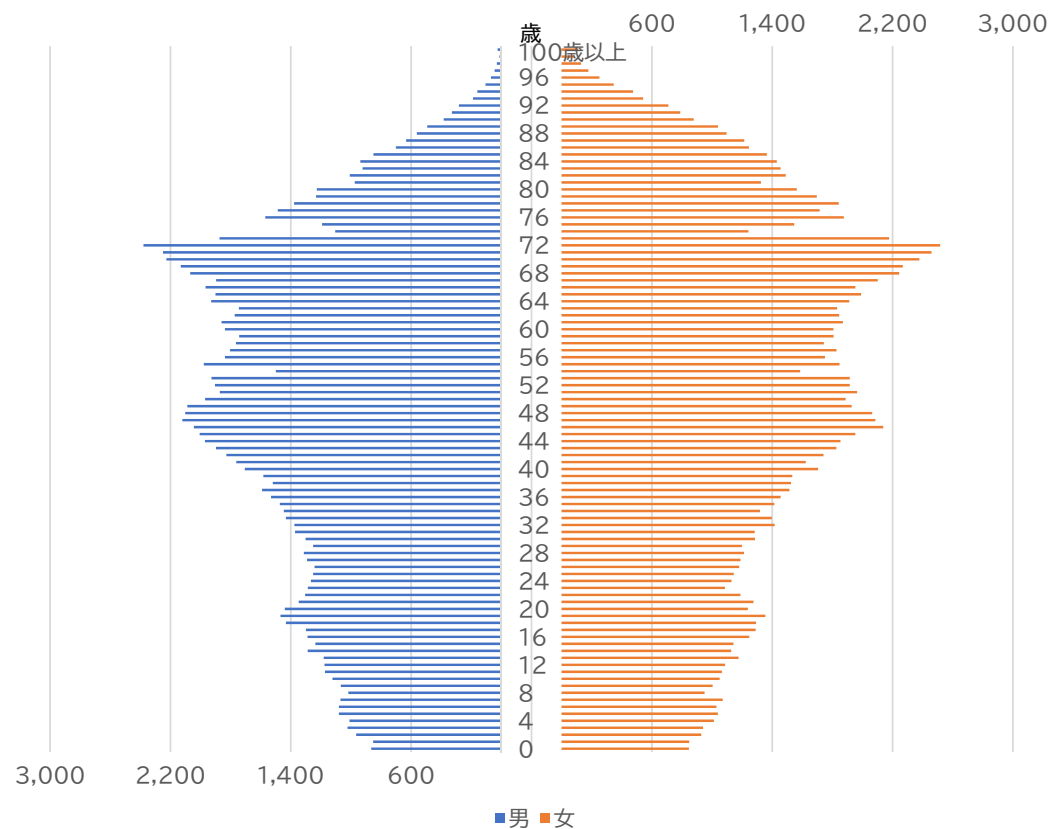
福島市の人口ピラミッド

令和5年度版

平成2年(1990)人口ピラミッド(人)



令和2年(2020)人口ピラミッド(人)

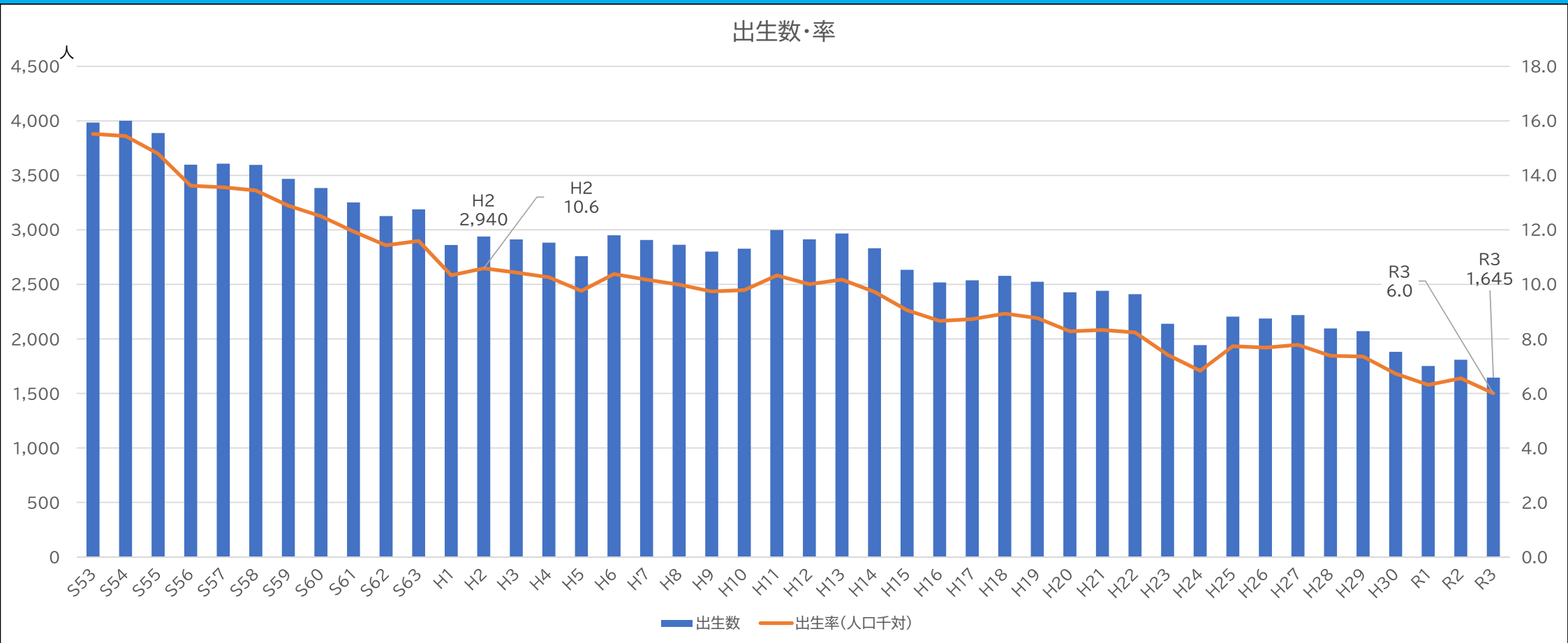


資料 国勢調査

年齢構成ではいわゆる団塊の世代(令和2年時点で71～73歳)が最も人口が多い。
平成2年の15歳(令和2年:45歳)から年齢が下がるにつれて人口が減少しており、出生数が平成2年には男女とも1400人前後のところ令和2年には男女ともに800人程度まで減少している。

福島市の出生数・率

令和5年度版

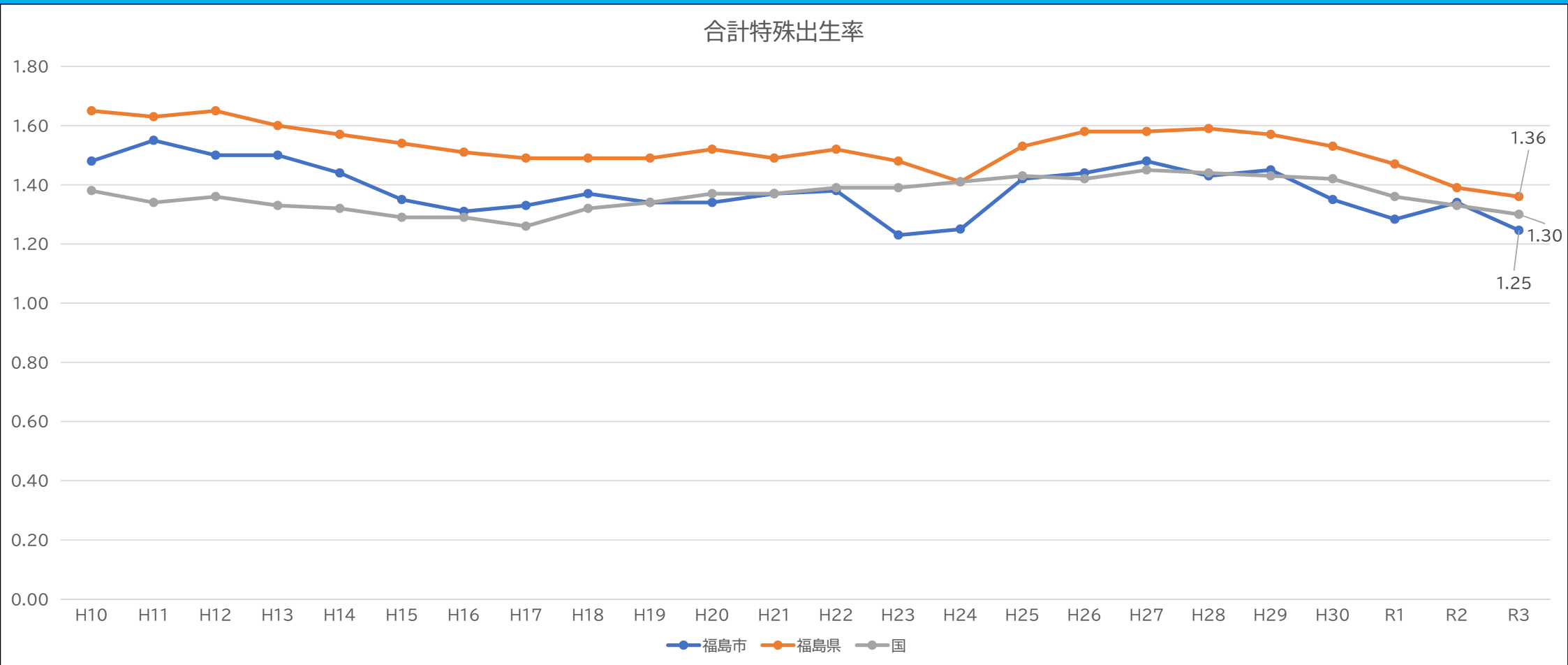


資料 人口動態調査票より市にて独自算出数使用

・出生数は年々減少しており、令和3年の出生数は1,645人、出生率は6.0と昭和53年以降最小

福島市の合計特殊出生率

令和5年度版

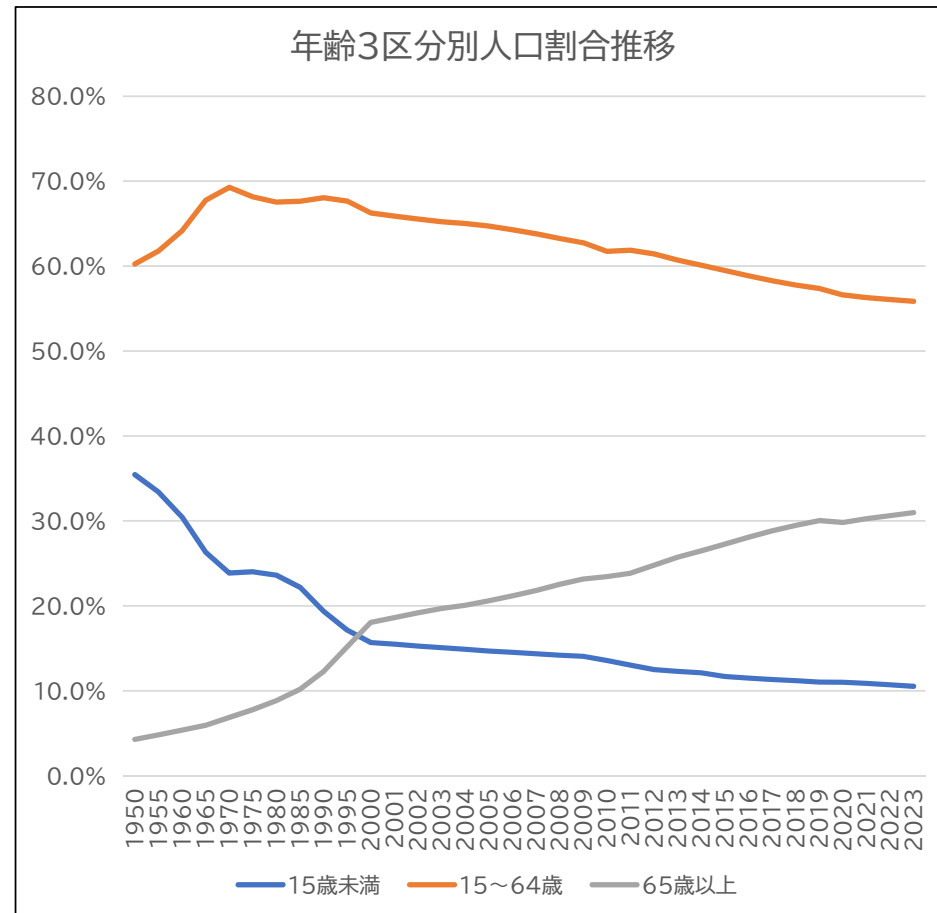
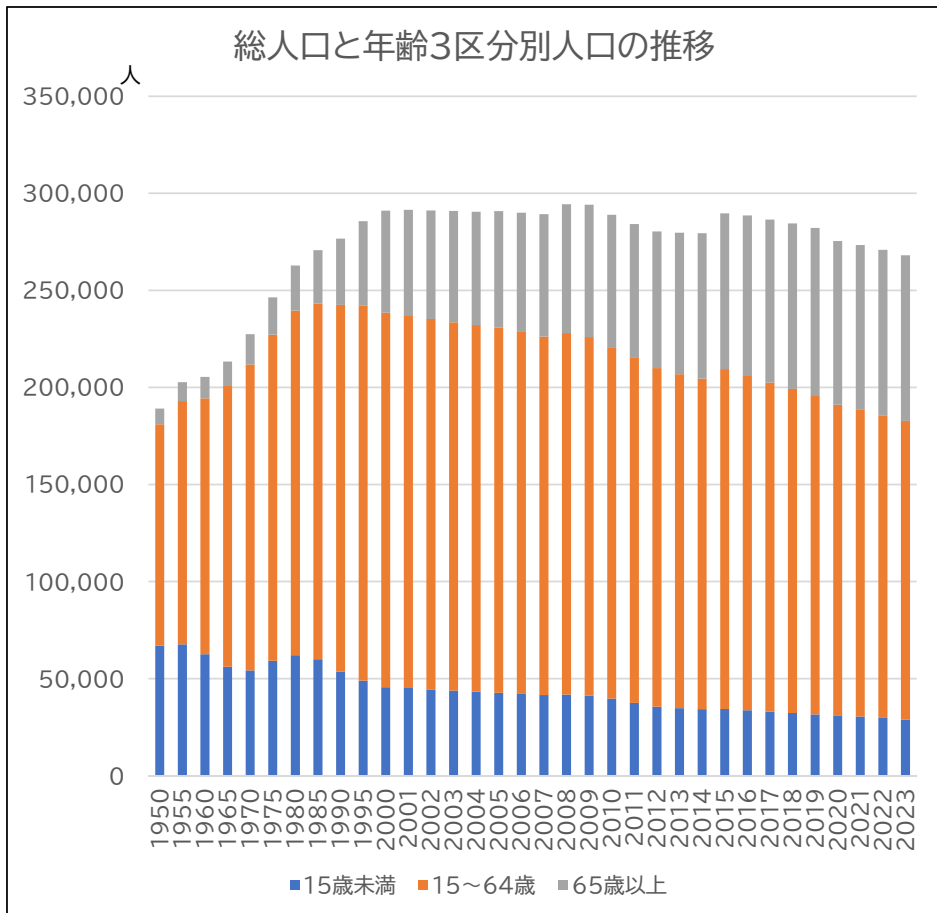


資料 市:人口動態調査票より市にて独自算出数使用
国/県:「人口動態統計(確定数)の概況」より

・令和3年の合計特殊出生率は1.25と、東日本大震災のあった平成23年に次ぐ低さであり、国や県よりも低い状況である。

福島市の年齢3区分別人口

令和5年度版



資料 国勢調査、福島県「福島県現住人口調査結果」

年少人口割合(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)は減少、老年人口割合(65歳以上)は増加し、少子高齢化が進んでいる。
令和4年 年少人口割合10.5%、生産年齢人口割合55.9%、老年人口割合31.0%

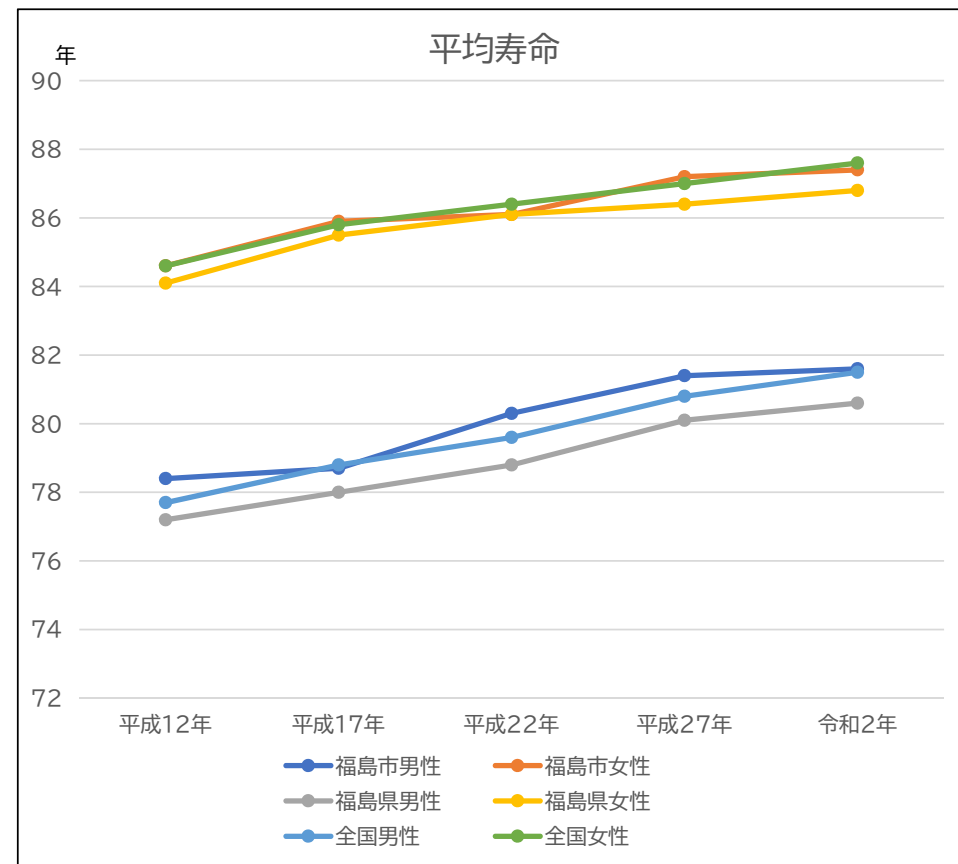
福島市の平均寿命

令和5年度版

単位:年

		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
福島市	男性	78.4	78.7	80.3	81.4	81.6
	女性	84.6	85.9	86.1	87.2	87.4
福島県	男性	77.2	78.0	78.8	80.1	80.6
	女性	84.1	85.5	86.1	86.4	86.8
全国	男性	77.7	78.8	79.6	80.8	81.5
	女性	84.6	85.8	86.4	87.0	87.6

資料:生命表



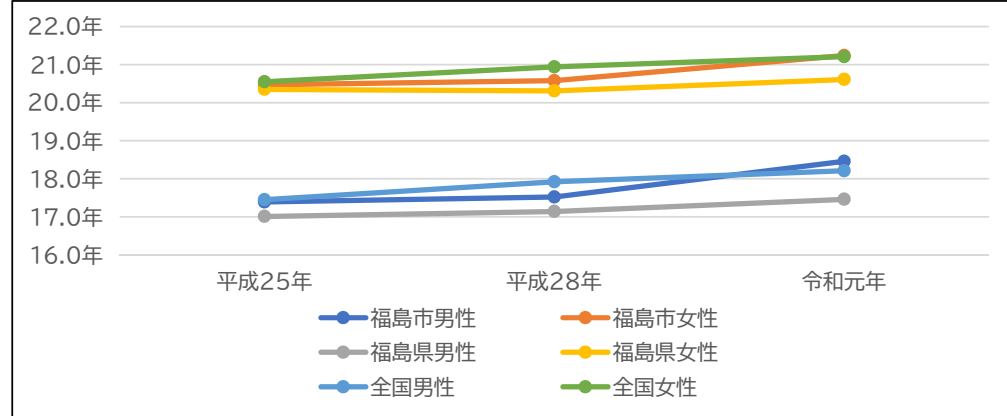
・令和2年の男性の平均寿命は81.6年、女性は87.4年で全国とほぼ同水準(全国 男性81.5年、女性87.6年)で県よりも長い(県 男性 80.6年、女性86.8年)。

福島市のお達者度

お達者度(65歳の平均自立期間)

単位:年

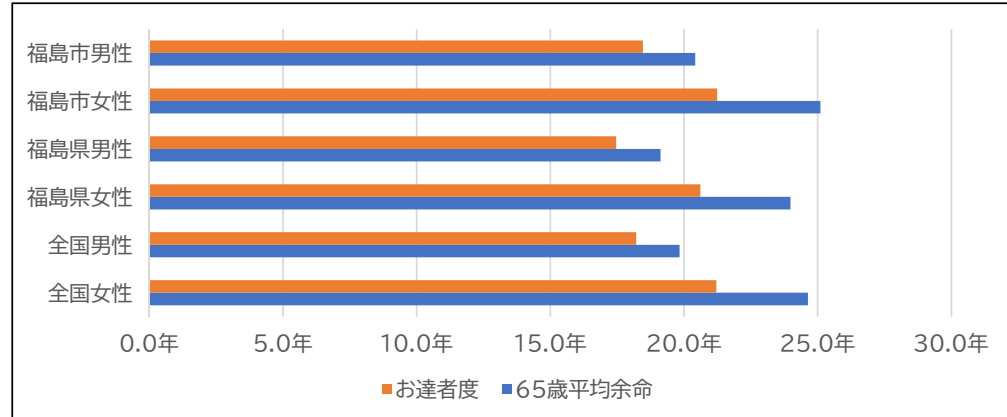
		平成25年 (2013)	平成28年 (2016)	令和元年 (2019)
福島市	男性	17.39	17.52	18.46
	女性	20.47	20.58	21.24
福島県	男性	17.01	17.14	17.46
	女性	20.35	20.31	20.61
全国	男性	17.45	17.92	18.21
	女性	20.55	20.94	21.21



2019年介護期間

単位:年

		65歳平均余命 (A)	お達者度 (B)	介護期間 (A)-(B)
福島市	男性	20.42	18.46	1.96
	女性	25.10	21.24	3.86
福島県	男性	19.12	17.46	1.66
	女性	23.98	20.61	3.37
全国	男性	19.83	18.21	1.62
	女性	24.63	21.21	3.42



資料 福島県市町村別「お達者度」の算定について

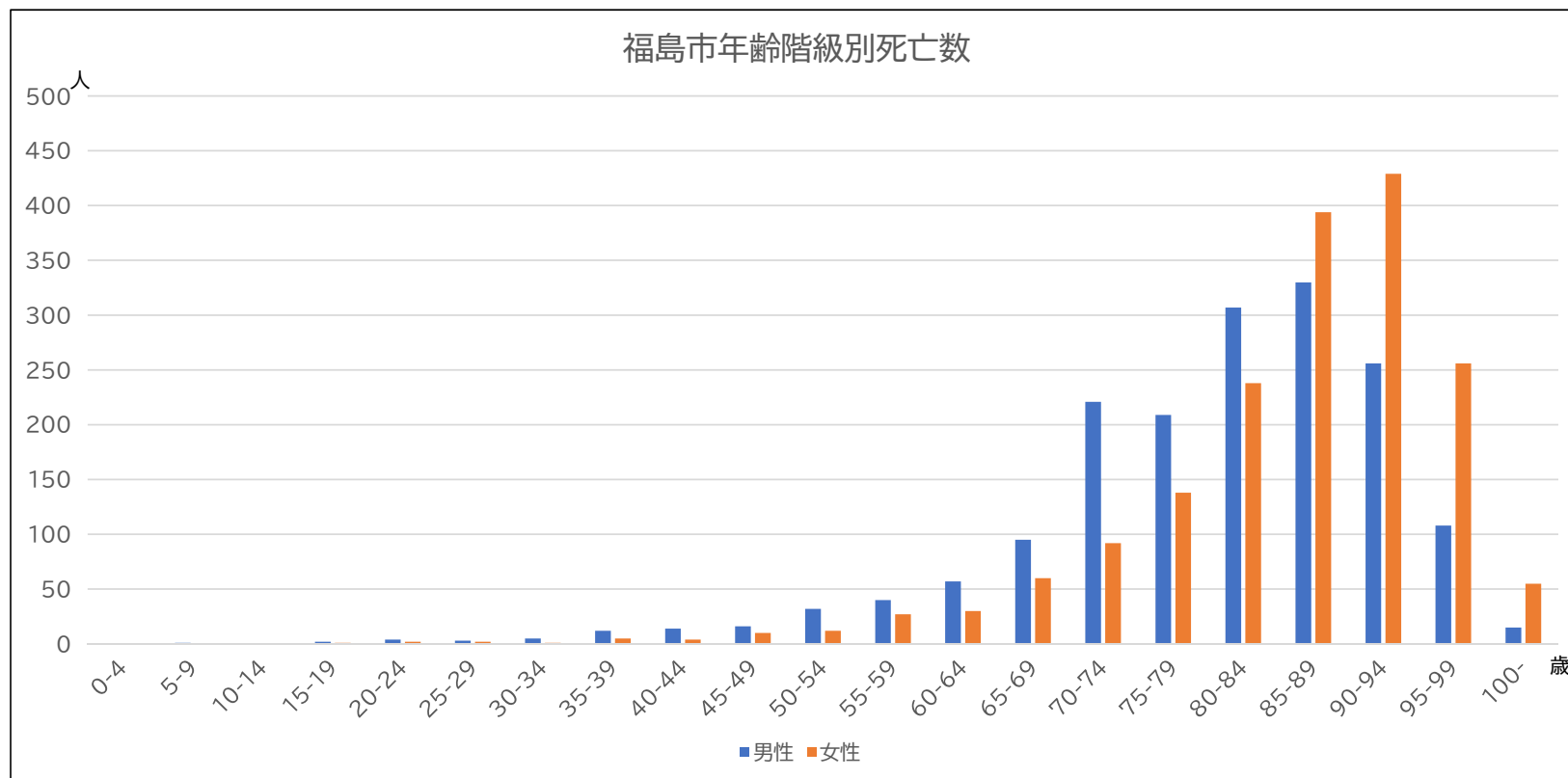
- ・2013年～2019年にかけて男女ともお達者度の延伸が認められ、特に市の男性は1年を超える延伸であった。
- ・男女ともどの年においても福島県を上回っている。
- ・男性の介護期間は1.96年、女性は3.86年と、国や県よりも長い。

福島市の年齢階級別死亡数

令和5年度版

令和3年 単位:人

年齢	男性	女性	男女
0-4	0	0	0
5-9	1	0	1
10-14	0	0	0
15-19	2	1	3
20-24	4	2	6
25-29	3	2	5
30-34	5	1	6
35-39	12	5	17
40-44	14	4	18
45-49	16	10	26
50-54	32	12	44
55-59	40	27	67
60-64	57	30	87
65-69	95	60	155
70-74	221	92	313
75-79	209	138	347
80-84	307	238	545
85-89	330	394	724
90-94	256	429	685
95-99	108	256	364
100-	15	55	70



・死亡者数について男性は80代後半、女性は90代前半がピークとなっている。

資料 人口動態調査票より市にて独自に算出

福島市の死因分類別死亡数

令和3年死因分類別死亡数

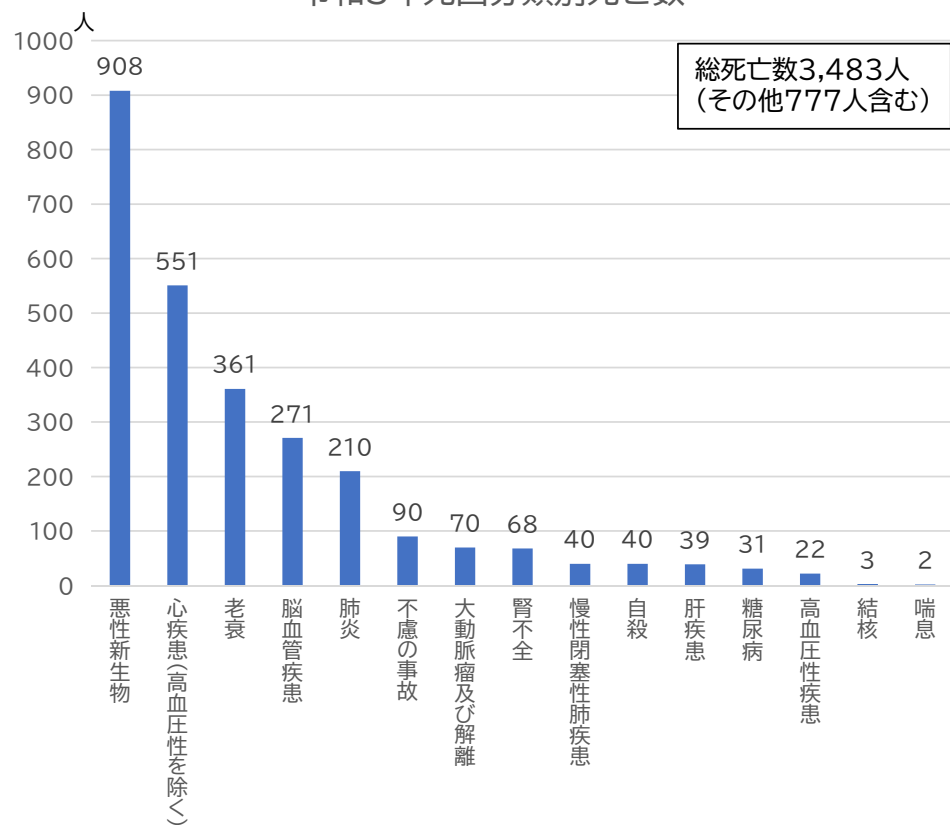


表 世代別 死因順位・死亡数・死亡原因に占める割合 男女

※その他を除く

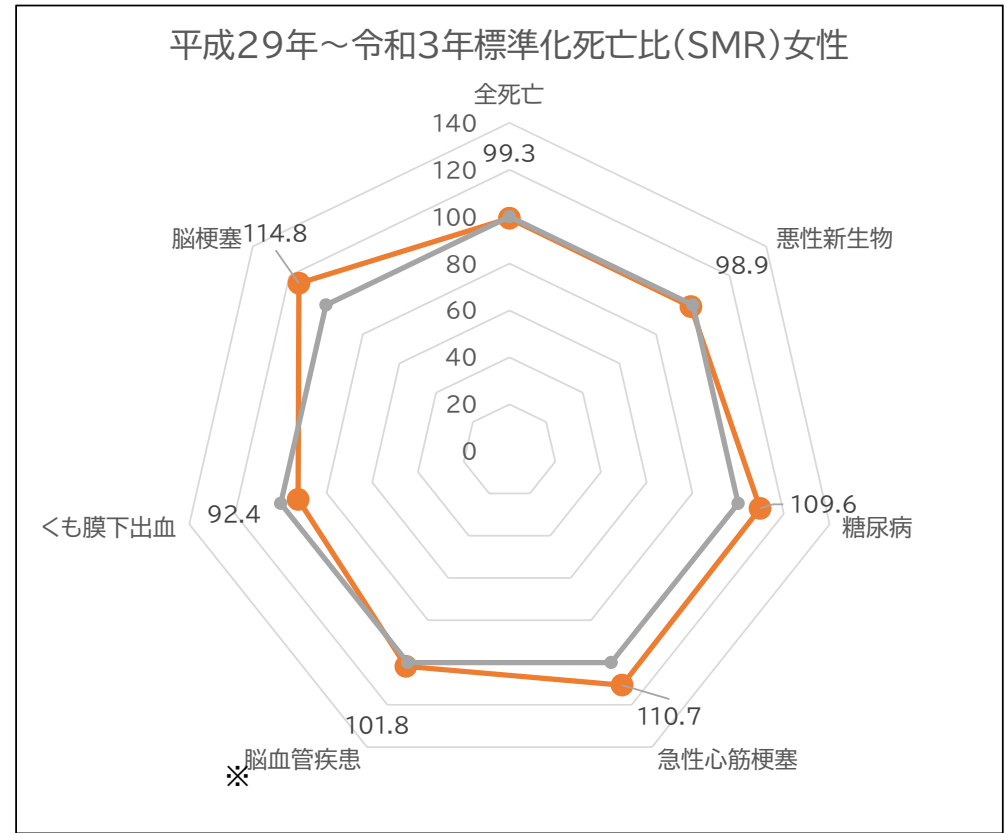
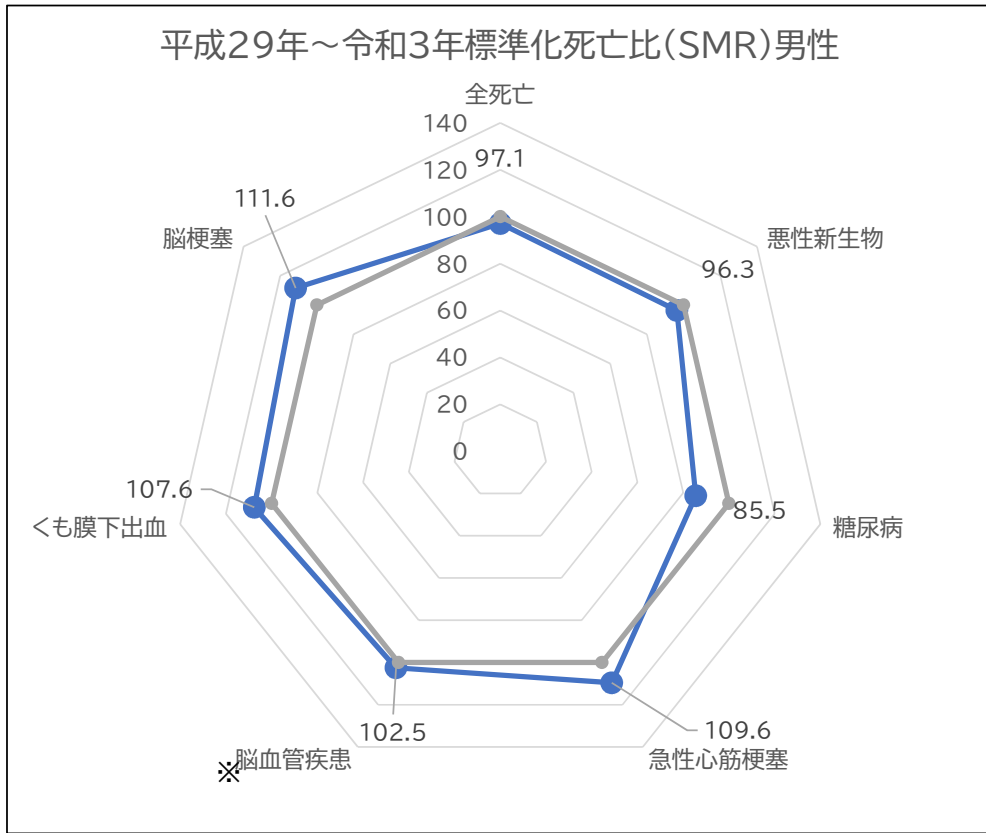
		0~39歳		40~64歳		65歳~		全世代	
第1位	死因	自殺		悪性新生物		悪性新生物		悪性新生物	
	死亡数 割合	18 47.4%	106 43.8%	793 24.8%	908 26.1%				
第2位	死因	悪性新生物		心疾患(高血圧性を除く)		心疾患(高血圧性を除く)		心疾患(高血圧性を除く)	
	死亡数 割合	9 23.7%	27 11.2%	522 16.3%	551 15.8%				
第3位	死因	大動脈瘤及びび解離		自殺		老衰		老衰	
	死亡数 割合	2 5.3%	16 6.6%	361 11.3%	361 10.4%				
第4位	死因	不慮の事故		脳血管疾患		脳血管疾患		脳血管疾患	
	死亡数 割合	2 5.3%	15 6.2%	255 8.0%	271 7.8%				
第5位	死因	心疾患(高血圧性を除く)		肝疾患		肺炎		肺炎	
	死亡数 割合	2 5.3%	11 4.5%	209 6.5%	210 6.0%				

資料 人口動態調査票より選択死因分類別死亡数を市にて独自算出

令和3年の死因のうち、1位は悪性新生物(26.1%)、2位は心疾患(高血圧性を除く)(15.8%)、3位は老衰(10.4%)
40~64歳では「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」を生活習慣病関連死因とみると61.2%で6割を超えている。
全世代でも同様に計算すると49.7%とおよそ2人に1人が該当する。

福島市の標準化死亡比(SMR)

SMR・・・全国を基準(=100)とした場合に、その地域での年齢を調整したうえでの死亡率(死亡の起こりやすさ)がどの程度高い(低い)のかを表現したものの。



資料 人口動態調査票及び推計人口より市にて独自算出

※ くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他合算

急性心筋梗塞と脳血管疾患、脳梗塞は男女とも全国より高い。
 糖尿病は男性が全国より低く、女性は全国より高い。
 逆にくも膜下出血は男性が全国より高く、女性は全国より低い